

世界漫遊特集 vol.14 2016年8月号

オーストラリア「ロードトレイン」

文..橋詰 英樹

日本の二十倍の面積を誇る国オーストラリア。土地はもちろん、建物、レストランでの食事のボリュームなど我々日本人からすると圧倒的なスケールを感じる。

そのスケールの大きさをを感じる物の一つで輸送手段「ロードトレイン」なる物が存在する。

ロードトレインとはオーストラリア独自で、コンテナを積載したトレーラーを大型トラックに連結させて物資を大量輸送する長いトラックのことである。一見、遠くから見ると貨物列車と見間違えうばかりの長さで、最長百メートルにも達するという。(日本の道路交通法では十八メートルまでと規定されている。)百メートルの長さを誇るロードトレインが高速道路では最高時速百キロメートルで走行可能というから驚きである。広大な面積と真っ直ぐに伸びた道路を持つオーストラリアでこそ成り立つ交通手段である。狭く、直線距離や道路が短くて少ない日本では考えられない輸送手段といえる。

ただし、さすがに広いオーストラリアといえど国内全土を走行出来る訳ではない。やはりシドニーなど大都市では走っていない。元々、鉄道の発達していないオーストラリアで貨物列車の代替手段として用いられてきた。鉄道網が発達している東部では見かける機会がなく、年々その数は減っているとのこと。現在は主に大陸中央部で走行している。

今年の二月、運送業界のお客様の添乗員としてオーストラリアへ同行した。今回の旅行の最大の目的はこのロードトレインを視察することであった。

日本出発前より視察先を方々探したところダーウィン近郊ではあるとの事だったが、我々が滞在するシドニー、ゴールドコーストでは見つからなかった。唯一の情報がゴールドコーストから西へ二百キロメートル先に位置するトゥーンバという町でロードトレインが走っているという。

お客様のご要望により、レンタカーを借りてお客様の運転でトゥーンバへ向かうことになった。トゥーンバに着いたからといって必ずロードトレインを見れる保証はない。お客様には了承いただいたものの私はもし何も見れなかったらと思うと内心ドキドキしながら助手席でナビをしていた。



約三時間かけトゥーンバに到着。情報を得ていた交差点へ向かう。果たしてここで数時間ロードトレインが通るまで待つしかないかと思いきや、あっさり一台のロードトレインが目の前を通過。しかし、その後はいっこうにその姿は現れず。そこで、レンタカーを運転していただいていた運送会社のN社長の勤で少し郊外へ移動。するとまさか流通センターのような地域を見つけ、駐車していた数台のロードトレインを発見。私には奇跡とも思える光景だった。近くで見るとやはり圧巻！今回はN社長のプロの直感に救われた。



帰り道の昼食場所の庭でも短い

ロードトレイン?とも遭遇できた。